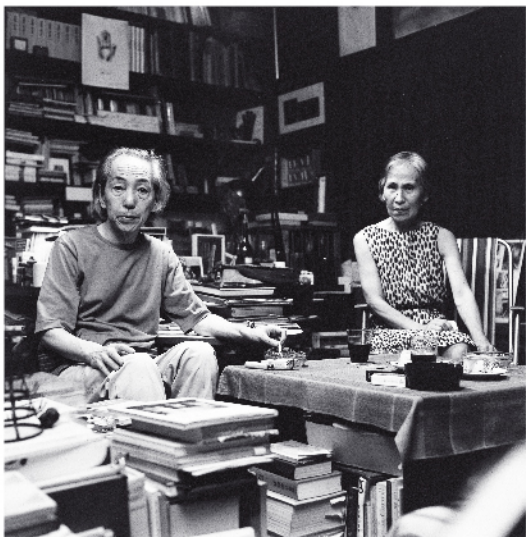


# 「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容



2



3

表：大辻清司《無言歌》1956年 千葉市美術館蔵

1：牛腸茂雄《見慣れた街の中で30》1978-80年 新潟市美術館蔵

2：大辻清司《瀧口修造夫妻、書齋にて》1975年 富山県美術館蔵

3：牛腸茂雄《幼年の「時間」1》1980年頃 新潟市美術館蔵

4：大辻清司《物体A》1949年 千葉市美術館蔵

5：『フォトタイムス』15巻6号[写真：阿部芳文(展也)] 1938年

※展示期間については、ホームページをご確認ください。

## 同時開催

### ○「実験工房の造形」

休館日：5月1日(月) / 休室日：4月17日(月)

※「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容」をご観覧の方は無料

※「実験工房の造形」のみをご観覧の場合＝一般500円(400)円、大学生400(320)円

### ○5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」

休室日：第1月曜日

※「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容」をご観覧の方は無料

### ○4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ11 金田実生 | 線の王国(仮称)」

4月13日(木)～7月2日(日)

休室日：第1月曜日 / 観覧無料

## 次回展予告

### ○「三沢厚彦 ANIMALS / 5th Dimension」

6月10日(土)～9月10日(日)

### ○「つくりかけラボ12 三沢厚彦」

7月14日(金)～10月15日(日)



2023年4月8日[土]—5月21日[日]

前期4月8日[土]—4月30日[日] / 後期5月2日[火]—5月21日[日] ※大幅な展示替えがあります。

休館日：5月1日[月] 休室日：4月17日[月]

開館時間：10:00-18:00[金・土曜日は20:00まで] ※入場受付は閉館の30分前まで。

観覧料：一般=1,200円(960円)、大学生=700円(560円)、小・中学生、高校生=無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※( )内は前売り、市内にお住まいの65歳以上の方の料金。

※前売り券は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

●リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料が半額になります。

●ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は、観覧料が半額になります。

※割引の併用はできません。

主催：千葉市美術館 特別協力：武蔵野美術大学 美術館・図書館 企画協力：株式会社アートインプレッション



# 「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容

戦前から戦後へと脈々と引き継がれた、「前衛」写真の精神をご堪能ください。

4人の作家の思想や作品は、互いに影響を与えあい、前衛写真として想起される技巧的なイメージを超えた「前衛」の在り方を示します。

そして、大辻の愛弟子・牛腸は、「見過ごされてしまうかもしれないぎりぎりの写真」という自身の言葉とおり、独自の視点で周囲の人々や風景を捉えました。

また、瀧口と阿部に強く影響を受け、交流もあった大辻は、「なんでもない写真」と題したシリーズを手掛けます。

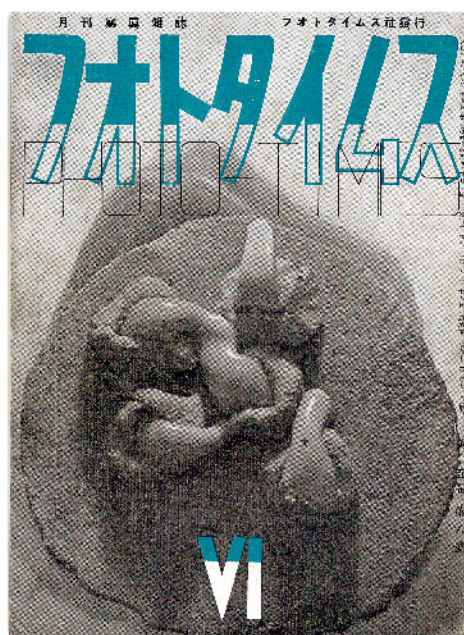
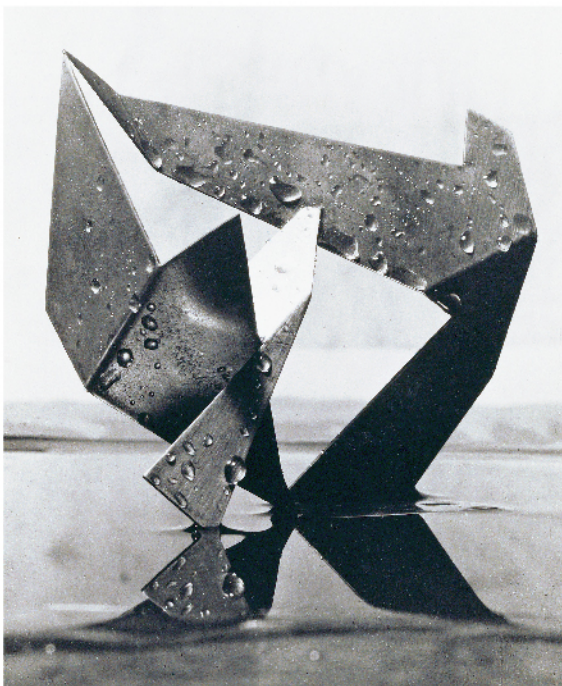


## 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

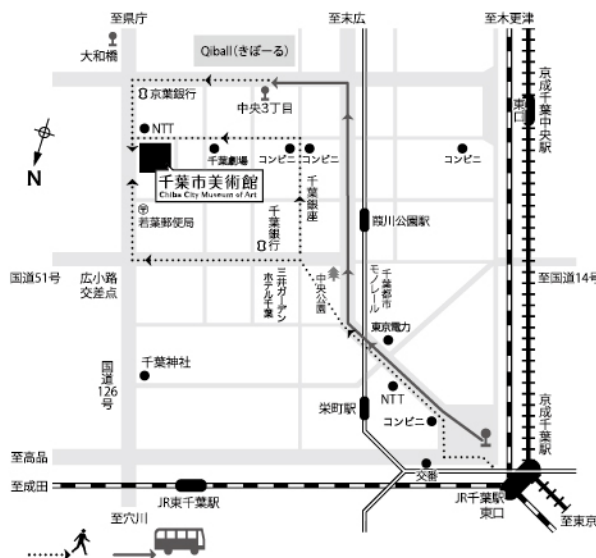
本展覧会では、瀧口修造、阿部展也、大辻清司、牛腸茂雄の4人の作家の交流と創作を辿りながら、1930年代から80年代にわたる日本昭和写真史の一断片をご紹介します。

1930年代、技巧的な前衛写真が活発に発表されるなか、瀧口は、写真におけるシュルレアリスムとは「日常現実のふかい襞のかけに潜んでいる美を見出すこと」と語りました。

本展は、この思想をひとつの軸としています。



5



関連イベント

- 講演会「瀧口修造と前衛写真」  
講師：藤村里美（東京都写真美術学会会員）  
4月22日（土）14:00-15:30
- 映画上映会「SELF AND OTHERS」  
佐藤真監督による牛腸茂雄に迫ったドキュメンタリー映画「SELF AND OTHERS」を上映します（協力：ユロスベース）。  
5月3日（水・祝）14:00-15:00  
\*当日、託児サービスデーを開催します。  
詳細はホームページをご確認ください。
- 市民美術講座「実験工房の精神史」  
講師：藁科英也（当館上席学芸員）  
4月29日（土・祝）14:00-15:30
- 市民美術講座「『なんでもない』をさぐる」  
講師：庄子真汀（当館学芸員）  
5月13日（土）14:00-15:30
- ワークショップ  
「カメラを使わない写真！フォトグラムを体験してみよう」  
（事前申込制）  
講師：清水裕貴（写真家、小説家）  
5月7日（日）13:30-15:30 / 定員10名 / 対象小学校高学年～ / 参加費1,500円 / 4月26日（水）申込締切
- 担当学芸員によるショートレクチャー  
4月12日（水）14:00-14:30 / 1階多目的室にて / 先着30名程度 / 参加無料
- 美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク  
4月12日を除く会期中の毎週水曜日14:00- / 先着5名（当日13:30より8階受付にて整理券配布） / 参加無料（要展覧会チケット）
- 印はすべて11階講堂にて、定員80名（当日12:00より1階にて整理券配布）、参加無料（要展覧会チケット）。  
そのほか詳細はホームページをご確認ください。



交通案内

- JR千葉駅東口より  
徒歩約15分 / バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 / 千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分
- 京成千葉中央駅より 徒歩約10分
- 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く  
※地下に機械式駐車場があります（車高155cmまで）。  
※シェアサイクルスポットがあります。
- ※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。  
・体調のすぐれない方はご来館をご遠慮ください。  
・咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指の消毒の徹底にご協力ください。  
※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8  
Tel : 043-221-2311 (代) <https://www.ccma-net.jp>